

1～3号機 原子炉建屋1階 除染・遮へい作業の実施結果について

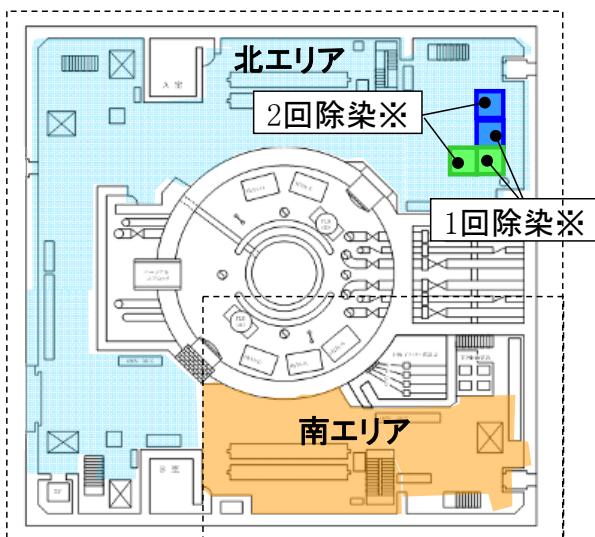
2号機床面の汚染除去効果

東京電力株式会社

平成25年12月26日

1.床面除染による汚染除去効果検証(一部エリアに対して実施)

■汚染除去効果は、床表面のβ線量により評価した



■: ジェットヘッド除染エリア(2m×2m)

■: ブラシヘッド除染エリア(2m×2m)

※現場が高線量であるため、作業被ばく低減のため、1回除染2回除染を並行して実施

2号原子炉建屋1階平面図



効果を確認した除染装置(ラクーン)

床面除染前後β線量

除染装置・回数	除染前β線量 [mSv/h]	除染後β線量 [mSv/h]	DF値 (除染前/除染後)	汚染除去割合
ジェットヘッド1回	7.0	1.9	3.7	0.73 ①
ジェットヘッド2回	2.9	0.5※1	5.8※2	0.82※2
ブラシヘッド1回	2.5	0.6	4.0	0.75 ①
ブラシヘッド2回	7.3	0.5※1	14.5※2	0.93※2

注: β線量の値は、(βγ線量測定値-γ線量測定値)により算出

※1: 算出値は0以下だが、γ線量が高い(6mSv/h以上)ため、測定誤差を考慮し0.5mSv/hとしている

※2: ※1の値を基にした参考値

①1回の除染で、ジェットヘッド・ブラシヘッド共に当初目安である汚染除去量1/3(0.33)以上を達成

②ジェットヘッド・ブラシヘッド共に2回除染を実施した方が汚染除去割合が高いことを確認

2.床面除染の実施方針

①床面除染は2回実施する

足回り除染以降に使用する装置の汚染を極力防ぐため、汚染除去効果の確認できた2回まで除染を実施する。

②ブラシヘッドを優先して使用するが、状況に応じてジェットヘッドも使用する

ブラシヘッド・ジェットヘッド共に2回の除染で十分と考えられるが、1回の除染結果を比較し、わずかながら汚染除去割合の高かったブラシヘッドを優先して使用する。

ただし、エリア全域を除染するにあたり、ヘッドの形状や運用上優位である場合などは、適宜ジェットヘッドも使用する。

参考：除染効果の検証フロー

【除染効果の検証フロー】2.足回り除染((1)-①, ②のみ) 4.中所除染 5.壁面除染 6.床面除染((2)のみ) に適用

